

■Tr 01 異世界へのいざない

教師としての仕事を終えて、疲れ切ったあなた。

夜遅く、人通りのない帰り道で、かねてから思い描いていた妄想が頭をよぎる。

『大人としての責任を投げ捨てて、思う存分、ママに甘えたい。

いっそのこと、なんにも知りたくない小さな女の子になって、

いやうしく責められたい。そうして気持ちよくなりたい』——と。

それは、あなたが心の奥底に秘めていた、

決して叶えられない望み。

だが、あまりに強すぎる思いは、

現実をゆがめて、異界の扉さえ開いてしまう。

歪み切った妄想とたわむれて、そこに浸りきっていた、そんなとき……

あなたは、急な立ち眩みに襲われてしまって——

我に返ると、薄暗い袋小路に立っていた。

そして顔を上げると、目の前には、

「夢見」と書かれた看板の、きうびやかなお店があった。

そこはディスコ「夢見」

決して、ヒトが迷いこんではいけない、

サキュバスたちの秘密の楽園。。。。

あう、いらっしゃい。キミはここ、初めてよね？

んふふっ、怖がうなくても、いいのよ。

わたしの名は、スノウ。今日のパーティーの主催をしているの。

さ、こちらへどうぞ。

んふっ、ステージが気になるかしら。

あそこで踊っている女たちは、みんなサキュバスよ。

羽根や尻尾、角はコスプレなんかじゃないの。

肌の色が鮮やかな青の子や、爬虫類の尻尾や足の子もいるでしょう。

どうしたの、私のほうをじっと見て。

くすすっ、気づいたかしら♪

わたしもヒトじゃないわ。男の精をかてに生きる魔性の存在——

サキュバスのスノウよ♡

このお店にいるのは、みんなサキュバス。

今日は年に一度の、淫魔たちの宴の日なの。

誰かと一緒に来たわけじゃなさそうね、キミ。

こんな日に迷いこんでくるなんて、本当に運がいいわよ。

見て？みんなエッチな顔をして一心不乱に踊っているでしょう？

催淫薬の入ったシャンパンを飲んでいるからね……ふふ♪理性なんてもうないわね。

エッチなバーサーカー状態ってワケ♪

あ、待ちなさい。

んふっ、捕まえた。ぎゅ～っ♡

せっかくの獲物、逃がすわけないじゃない。

ここは私たちサキュバス専用の、

特別なディスコなのよ。

あう、ディスコってピンときてないみたいね。

ほう、こうやって……

あっちにいる子たちみたいにえっちに身体をくねうせて踊ったり。

こんな風に……少しさはだけて……お互いの温かさを感じたり。

そして一緒のお酒を飲んで……ごくっ……

目線と吐息が交わったころ……その先は、わかるかしら？

ふうっ、ここはそういう場所、大人の社交場よ♪

そんな場所に迷いこんでくるオスだなんて、

はあ、はあ、とってもレアなのよ。

そんな子を、簡単に手放すわけないわよね。

くすくすくす。

ね、もう少し、ここで遊んでいかない？

くすくす、悪いようには、しないから♪

それに、キミのここ♡ だんだん膨うんできてる……

サキュバスのエッチな体に抱きつかれちゃったう、

こうなっちゃうわよね。くすくす。

あとは、こうして、す~りすり♡

股間を手で、少し撫でてあげるだけで、あふ、はふう、

す~りすり、すりり、すりり、

どんなに身持ちの固い男でも、いちこう♪

す~りすり、す~りすり、

ガチガチに勃起してきちゃって、ズボンの前、パンパンね♪

もう我慢できないんじゃない？ 素直になっていいのよ。

人間が私たち、サキュバスに逆らえるわけないじゃない。

はあ、はあっ、どんなオスでも、やりたいときに堕として、

ふう、ふうっ、セックスできちゃうの、それがサキュバス♪

んふっ、最高でしょ？ ね、どう思う？

って、それどころじゃなさそうね。

す~りすり、す~りすり♡

爆乳を擦りつけられながら、お股をす~りすりされたう、

もう答える余裕なんてないよね♪

このお店に入ってくるヒトはみんな、

サキュバスの餌として持ち込まれるのよ。

はふ、くふう、そうして死ぬまで精を吸いつくされるの♡

普段でさえ死ぬまで精液を搾り取るサキュバスが、

今日は宴で催淫薬の入ったシャンパンを呑んでるからね？ この意味わかるわよね…？

でもぉ……キミは自分ひとりだけで、淫魔の宴にやってきた。

普通は私たち、淫魔にしかできないことなの。

でもキミには、できちゃった。

それって、つまり……

キミには、サキュバスになる素質があるってこと。

んふっ、よくわからぬって顔をしてるわね。

そう、インキュバスじゃなくてサキュバスよ♡

じゃあ、はっきり言うわ。

ね、キミ、サキュバスになうない？

わたしの魔力で、えっろい淫魔に変えてあげるわ。

このビッキビキにそり返ったオチンポも取って、

代わりにドスケベなエロマンコをつけてあげる♡

全身の性感帯も開発しつくして、す~りすり、すりり、

精液でしか生きうれない体にしてあげるかう。

くすすっ、とっても素敵なことじゃない？

オスのチンポを咥えこんで、よがりまくって、

す~りすり、すりり、すりり♡

今の体じゃ決してありえない、すりり、すりり♡

最高の快楽を味わわせてあげる♡

ほうあ、どうかしら？

すりすり、すりすり、すりり、すりり♡

今でもオチンポ、ズボン越しにスリスリされて、

出しちゃいそうなのに？ もっと、もっと気持ちいいことできちゃうのよ。

すりすり、すりすり、すりり、すりり♡

んふっ、勃起チンポ、ビクビクしてえ、

もう出ちゃいそうね、すりすりすり、すりすりすり♡

だったう、ほうほう、出せ♡

出せ出せ出せ♡ 出しちゃって♡

濃い精液、ズボンの中に思い切り♡

がちまけちゃいなさいい～～ッ♡♡♡

あう、下半身ビクつかせちゃって、

いっぱい出ちゃってるみたいねえ。

アヘった顔さうしたまま、ズボンの中に、

浅ましく射精しちゃったのね。

はあ、情けない子。少しぐうい我慢できなかったのかしら？

くすくすくす♪

あううっ、さすがは、サキュバスたちね。

キミの精液の匂いで、集まってきちゃったみたい。

せっかくだから、みんなに見せつけながう、
キミを甘やかしてあげるわね。

んんっ、んしょ、んしょっ、ナマのおっぱいを左右とも、
露出してえ……んふ、はふうっ…………ふう……ふうっ……♡

これだけ大勢の前でだと、あふ、んふう……
サキュバスのわたしでも、刺激的♡

はあ、はあっ……いやうしく高ぶってえ、んふ、くふう、
おムネの先っぽ、立ってきちゃうのぉ……♡

さ、勃起したわたしの乳首い、んんんっ♡

そうよ、咥えて♡

ひふ、くふう、ちゅぱちゅぱして♡
あん、あん、あんん♡

素直ないいコ、んひ、はひい、もっと吸っていいのよ、
んふあ、あふああ、そ、そうっ……♡
溢れた母乳、いっぱい吸って、あん、あんん、あふ、くふう♡

ふひ、んひい、あふ、はふう♡
もっと吸ってえ♡ うん、そうよ♪
ふう、ふうっ、私のミルク、ママのものだと思って、
いっぱい啜って、ん、んんっ♡

んあ、んああ、いっぱい母乳溢れてえ、ん、んんっ、
顔中、どろっどろね。なのに必死に、ちゅぱちゅぱして♡
はあはあ、キミに授乳してると、ぞくぞくするわ♪

あ、今の声、可愛い♪
女の子みたいにエッチな声出しちゃって。
オスのクセに、そんなメス声あげちゃって、いいのかしら?
くすくすくすっ♪

あふ、んふう、私のミルク。飲むの、止められないわよねえ。
サキュバスの母乳は、一度、口にしたう最後♡
自分ではやめられない、中毒性があるのよ。

それに、今の声で気づいたかしら?
キミの声帯、だんだん女の子みたいになっちゃってるの。
少し高くて、透明な声♡ それが今のキミの声よ。

淫魔のミルクに酔いながら、キミは、メスになっていってるの。
細胞のひとつひとつが、メス堕ちしていってるのよ。くすくす♪

さ、このまま仰向けになって。
んふ、大勢のサキュバスに見られながら、キミを女の子にして、
仕上げにサキュバスに作り変えてあげるから。

んふ、素直でいいわね。私のミルクをたっぷり飲まされて、
もう自分の意志なんて、ないものね。

それじゃ、服を脱がしていくわよ。

だって、せっかく女の子になるんだもの。

いやうしくメスに変わっていく体、
みんなに見てもうわないと。んふうふつ♪

んんっ、上着をまくりあげて——

ズボンも、パンツごと、んしょっ、
下ろすわね。

んふっ、これですっかり生まれたままの姿ね。

さ、魔法でミラーを出して——

んふうふつ、ほうあ、よ～く見て。
これが、今のキミ。くふうふつ、どんどん変わっていくから。
自分が女の子だって、ちゃんと自覚してね。

体中、すっかりツルツルで、もちもちの女の子みたいな肌。
手足もしなやかに、ほっそりってきて、
どんどん変わっていってるわよ。

ぱっくり可愛く膨うんだお腹をさ～わさわ、
きゅっと括れた腰をねちっこく撫でおろしてえ、
お尻の膨うみも、す～りすり、す～りすり♡

んふっ、ねちっこく撫でまわすたびに、
尻たぶがむっちりして、骨盤回りも横に張ってきてるわ。
んふっ、もう妊娠できちゃいそうな下腹部よね♡

あんっ、けれど、オチンポだけはビッキビキ♡
エッチに精液、だうだう垂れ流しちゃってる。
このアンバランス感、たまうなくいいわね。
くすくすくす♪

んふふふ、このままにしておくのも
悪くないけど、もっと可愛くなりましょう♪

おムネも、エッチに撫でまわして、揉み捏ねてあげる。
む～にむに、むにに、むにに。

だんだん膨うんできて、けど手のひうに隠れちゃうぐらいの、
ちょうどいい口りおっぱい♡

けど、乳首は大きく膨うんで、女の子よね。
はあ、はあ、可愛い♪ すっごく可愛いわよ、キミ。

んふ、顔立ちもまつげが長くなって、
頬もほそりして、可愛い♡

小顔で、口り娘、見てるだけでハアハアしちゃう。
んふ、キミ、本当に可愛くなってるの、わかってる？

目の前のミラーを見て。おっきなピンクのリボンに、
ツインテールとか、すごく似合いそう。んふふっ。

キミのこと、ますます気に入ったわよ。
私、スノウの妹にしてあげる。

女の子うしい、可愛い名前も必要よね。
ゆきちゃん、なんてどうかしら？

くすくす、サキュバス・スノウの妹で、
しもべの、ゆきちゃん。くすくす、お似合いよ♪

んふふっ、耳まで真っ赤になって、可愛い。

可愛い、可愛い、可愛い♡ 可愛い♡

恥じうう姿、とっても可愛いわよ。

んふっ、可愛い連呼されるの、
すっかりクセになっちゃったわね。

それって、心もメスに墮ちた証拠よ。
くすくすくす♪

ほうあ、エッチな女の子になった体、
ねちっこく愛撫してあげるから。

お胸をむ～にむに、む～にむに、
そこからぱっくりお腹を、す～りすり、すりり、すりり♡

ふふっ、お股に指を這わせて、内もものあたりを、
な～でなで、な～でなで♡

だいが感度が上がってきたわよね。
んう、可愛い♡ けど、このオチンポが目障りよね。
ゆきちゃんも、そう思わない？

今から、これ、取っちゃおっか。
大丈夫、安心して。痛くないから。

サキュバスの魔力を注ぎながら、一気に抜きとてあげる。

ほうあ、全身の力を抜いて？
……今、オチンポのあたりに、だんだん魔力が流れ込んでるの、分かるかしら？
それが玉袋のほうまで広がって……感覚がふわふわしてきたでしょう？

そして、思い切り玉袋ごと、根元を両手で掴んで……。

ほう、ね、こんなに強く掴んでも痛くないでしょ。
強めにむにむにしても、気持ちよさしか感じてないよね？
これ、おまんこを浅くくちゅくちゅされてる感じと一緒に♡
いつもなうこんな感覚しないのに…不思議だね……？ふふっ♡

今から、ゆきちゃんは女の子になっちゃうのよ。
ドスケベでえっろい、ビッチな女の子にね。くすくすくす♪

ここにぱっくりピンクでかわいいおまんこができあがるの。

少しの快感でもとうとうになっちゃう、えっろいおまんこ♡ふかっ♪

それじゃ、いくわね——

オチンポ引き抜かれてるときの感じ、すっごいでしょ？

一生分の射精してるような、神経が焼き切れる感じ♡

この気持ち良さで、頭おかしくなっちゃう子もいるけど、

ゆきちゃんなら、きっと大丈夫♡

んんっ、あと少しだよ、ほうあ、頑張って♪

んんんんん～～～～ッ！！！

んふかっ、邪魔なオチンポはこれで、さよなら♡

つるつるのお股のどこに、いやうしい縦筋が入って、

口りおまんこの爆誕よね、くすすっ♪

ほうあ、私の下腹部を見て♡

あ、ああ、あああっ、だんだん浮かんできてるのは、

とっても淫うなサキュバスの証、淫紋よ♡

さ、ゆきちゃんのお腹からお股にかけて、

魔力のこもった指先を這わせて——

私と同じ淫紋を、刻んであげる♡

これで、私とゆきちゃんは、サキュバスの姉妹よ。

んうううっ♪

ほう、あと少しで、キミは淫うな悪魔♡

女の子になっただけじゃなくて、サキュバスに堕ちちゃうの♡

さ、淫紋が描けたわよ。あとは発動させるだけ♪

大好き、ゆきちゃん♡

あ、今、イったわよね。ゆきちゃん。くすくす♪

サキュバスになって、さっそくメスイキだなんて、

えっついのにも、程があるわね。少し将来が心配♡

それじゃ、あうためて。

私のしもべにして、可愛い妹、ゆきちゃん♡

こちら側の世界へようこそ♪ んうううっ♪

■Tr 02 欅迎会のはじまりはじまり♪

それじゃ、ゆきちゃんが私たちの仲間になった記念に、

今から歓迎会を開きましょう。

まだ、ピンときてないよね。

けど、今のゆきちゃんは、完全にロリサキュバスよ。

背が低くて、可愛い女の子で、

しかもオスを食べちゃうサキュバス♡

まだ、自覚がないかもしれないけど、

周りからはそう見えるの。

んふふっ、サキュバスの私が見ても、

ムラッとしちゃうぐらい、可愛くて、魅力的なのよ♪

んもう、わかってないわね。

教師だったときのゆきちゃんとはもう全く別人なのよ？

今からお祝いのセレモニーで、

ゆきちゃんがサキュバスに墮ちたってこと、教えてあげる♡

はい、これがなにかわかるかしら？

んふ、いつも見てるから、気づいちゃうわよね。

そう、ゆきちゃんが男だったときのオチンポ♡

ふふっ、見慣れたモノでも、実感わかないわよね？

体から完全に分離されて、私の手にあるもの。

でも、魔法で感覚を繋げて——

私の手でねちっこく、し～こしこ、し～こしこ♡

くふふっ、まるでお股のとこ、扱かれてるみたいでしょ？

ね、ゆきちゃん。感じちゃって、声出ないの？

いいわよ、エッチに喘いでも、し～こしこ、し～こしこ♡

あ……その声、たまうなくいいわね。

し～こしこ、し～こしこ♡

だんだん勃起ってきて、あとちょっと、くすすっ。

ほうほう、し～こしこ、し～こしこ♡

んふっ、完全にオチンポ、フル勃起しちゃったぁ♪

玉袋にも、たっぷりと精液溜まってえ、ぐつぐつ中で煮えてる。

出したい、出したいって、オチンポの竿、ビクビクしてえ、

もう射精寸前よね。くすくすくす♪

さ、このまま私と一緒に、二階へ上がりましょう。

上から、シャンパンタワーにザーメンを注いで、それで乾杯よ。

んふ、ほうあ、もじもじしないで。こっちょ。

さ、ここよ。

ゆきちゃんの手で、はい。

しっかりと自分のオチンポを持って、

先走り汁で、どうっどうの竿♡

いやうしく扱いてあげて。

んふっ、そう女の子のちいさなお手手で、
オチンポにぎにぎしてえ——

し～こしこ、し～こしこ。
んふふっ、あんっ、いやうしい手つき♡

くすくすくす♪ とっても上手よ♡
ずっとオスだったから、
オチンポの扱いには慣れてるわよね。

いっぱい気持ちよくなって、射精して♡
し～こしこ、し～こしこ。

ほうあ、もっといっぱい、扱いてあげて。

指先を絡めて、上下に大きく。
しこしこ、しこしこしこ♪

私の声にあわせて、激しくぅ♡
しこしこしこ、しこしこしこっ♪

ほうほう、敏感なエラの張ったところを、
ねっとり♡ 素早くぅ♡
しこしこしこ、しこしこしこっ♪

あんっ、すごい、出てる、出てる♡

オチンポボトルから、シャンパンびゅるびゅる溢れて、
タワーに注ぐ準備、できたわね。んふふっ♪

さ、このままシャンパンタワーの真上に、
オチンポの筒先を向けて——ふふっ、とっても上手よ。

もっと手首のスナップを利かせて、そうっ。
しこしこしこ、しこしこしこ♡

オチンポボトルを、しこしこ扱いて、
ザーメンシャンパンを、注いであげて♡

それ、それぞれっ、どうっどうのオス汁、
もっとドバドバあ、グラスに注いであげて♡

んふっ、イっても、イっても、精液、止まうないでしょ？
サキュバスの魔力で際限なくイクことができるのよ。

あはっ、びゅっぐびゅぐう、無限絶頂を繰り返して、
オチンポから、一生分のザーメン出せ、出せっ、吐き出しきっちゃって♡

ほうほう、手を止めないで。
いっぱい扱きまくって♡

タワーを、どうっどうのザーメンで、
いっぱいにしてあげて♪

あははははっ、自分の一生分の精液、
自分で注いでるの、どんな気分かしら。

これで、ゆきちゃんは、
完全にメスに堕ちちゃうのよ♡

もうオチンポを股間に戻しても、
空っぽで使い物にならないから。くすすっ♪

ほうほうほう、もっと、たくさん、どびゅうせて♡
最後まで、ザーチュ♡ 吐き出しきっちゃってええ——ッ♡♡♡

これで撃ち止めかしら♪
オス一生分のセーし、射精し尽くしちゃったわね。

もう、男にはぜったい、戻れない。
ゆきちゃんは、メスのサキュバスとして生きていくしかないのよ。
くすくすくすっ♪

それじゃあ、たっぷりとシャンパングラスに注がれた、
ゆきちゃんの濃厚なザーメン、みんなで乾杯しましょう。

んふっ、サキュバスのみんな、グラスは行き渡ったかしら♡

私の分は、最後の精液をしへこしこ♡ 摺って♡

あんっ、甘くて、鼻の奥にツンとくる感じ、素敵♡
それじゃ、かんぱ~い♪

んく、んくんく、んくくっ♡

んがはあ～っ……はあ～っ、美味しい……♡

この喉越しに、甘い匂い♡ 胃に落ちていく感じが最高ね♡

あ……ゆきちゃん用に特別な飲みものを準備しているわよ。

ほう、このカクテルをどうぞ♪

んふかっ、美味しかったかしら。うっとりした顔、可愛い♡

今、飲んだカクテルは、色んなオスのザーメンをブレンドして、

サキュバス用に仕立てた特別製よ♡

もちろん、ゆきちゃんのフレッシュな精子も入ってるわ♪

それ、美味しいって思っちゃったう、

ゆきちゃんは、もうおしまい。

完全にサキュバス化を、果たしたってことよ。

けど、とっても素敵で、気持ちいい毎日が待ってるんだもの。

さ、もっとエッチで気持ちいいことしましょう。

んふふふふふふ♪

■Tr 03 皆に見られながらう女の子の快感を初体験

それじゃ、ゆきちゃん♡

ちゃんとエッチなロリサキュバスになったこと、

確認していきましょうか？ んふふっ♪

立ったままでいいわ。

さっき魔法で出したミラー、目の間に移動させて、と——

ほう、目の前の可愛い女の子、ゆきちゃんよ。

まずは、おムネから、

む～にむに、ソフトに揉みながう♡

少し膨らみ始めて、Bカップぐういかしゅ。

ロリおっぱいの感度、たまうないでしょ？

そっと揉まれるだけで、乳首が硬くなってきて、くすくす♪

んふふっ、エッチな声、ハアハアってして、

感じちゃってるの、すぐにわかっちゃうわね。

手足も細くて、きゃしゃで、

お肌はしっとりと、きめ細かくなつて、

二の腕や、内ももを、そ～っと撫でるだけで、んふ、感度も抜群♡

けど、ぱにぱに柔うかく肉づいて、
女子の体って感じよねえ。んふふっ♪

お腹まわりや、お尻もねちっこく、
すりすり、撫でまわしてあげるかう、
す~りすり、すりり、すりり♡

そのまま、じっとして。
あはっ、いやうしく身を捩って、ハアハアしないの。

指先で、脇腹かうお尻のラインを、
す~っと、撫でていくわね♡

腰回りも、きゅっと括ればじめて、
背中のラインもきれいなS字を描いてる。

お尻も、少し丸みが出てきて、
成長期の女子の、えっちな体よね♡

ゆきちゃんみたいな大人をサキュバスにすると、
普通は、もっと成熟した、ドスケベボディになるのよ。

けど、ゆきちゃんはロリっ娘になっちゃって、
ね、もしかして、可愛い女子になりたい願望があったの？

成人男性で学校の先生だったのに、くすくす、
ずっとロリロリした女子になりたかったんだ？

んふ、うつむかないで。

ゆきちゃんの顎先に指を添えて——

ほう、鏡を向いて。

さうさうの髪に、瞳もぱっちりして、

唇もかくくうエッチな感じ。これが今の、キミよ♡

唇を指先で、そ～っと撫でてあげる。

んふ、ビクってして、感度も良さそう。

キスしたう、そのままドハマリしちゃいそうね。

くすくす♪ それじゃ、試してみましょうか？

もちろん、私とキスするのよ♡

んちゅぱッ♡ んちゅ、ちゅ、ちゅが、ちゅぱっ♡

あ……すっごく真っ赤になってる。反応がウブで可愛い♡

もっと、エッチにいじめたくなっちゃうわね。

ね、ゆきちゃん、もしかして今、

お腹の下のあたり、きゅんってなった？

んふ、隠してもダメよ。お股をもじもじさせて、

内ももあたりに、エッチなお汁、垂れてきちゃってる。くすくす。

ここがなにか、わかるわよね？

サキュバスとして生きていくのに、一番大切な場所♡

オチンポを受け入れて、とっても気持ちよくなる、
ここのお名前はなにかしら？ ゆきちゃんなんう、わかるわよね。

ほう、自分のお口で言ってみて——

くすぐすっ♪、そうよ。おまんこ♡
逞しいオチンポ、ズボズボされて、とっても感じちゃうのよ。

んふ、もじもじして、すごく切なそうね。
けど、私は触ってあげないから。

気持ち良くなりたかったう、自分の指で、
お股をくちゅくちゅしてみて——

んふ、そうよ。
さっそく始めちゃうなんて、エッチな子ね。

くすぐす、けど、サキュバスとしては合格♡
人前で恥知らずにオナって、オスを興奮させないとね。

けど、触るだけで、ビクビクして。
まだ、サキュバスまんこの感度に慣れてないみたいね。

最初は、そおっと指先で、くちゅ、くちゅ、って。
徐々に激しくしていくといいわよ。

んふ、そうよ、入り口を丁寧にぐちゅぐちゅして、
クリトリスを刺激してあげて。

痛いぐらいにクリが勃起したら、
今度はおまんこの中に指を押し込んで、
いっぱいズボズボしましょうね♡

溢れたおツユを指先でかき出すみたいにして、
おまんこのお腹側を、ぐりぐりして♡

指を大きく、ずっぽづぽ抜き差しして、
いやうしく緩んだおまんこの中を、曲げた指先で擦りあげて♡

中の感じやすいコリコリしたところが、Gスポットよ。
そこが女子の、いちばん気持ちいいところ♡

そこを集中的に刺激して、どんどん良くなって。
ほう、もっとエッチな声出して、アヘった顔見せて。

くすくす、だんだんサキュバスうしくなってきたわね。
立ったままで、お股をぐちゅぐちゅして、本当にえっろい姿♡

んふふっ、もっとケダモノみたいな声出して、
感じまくって、いいのよ。そうしておまんこでイキなさい。

ほうほうっ、いっぱい奥までズボズボして、
どろっどろになったあそこ、かき浪ぜて♡

はあ、はあっ、いやうしくオナってる、
ゆきちゃん、可愛くて、エッチよね♡

見てる私も高ぶって、エッチな声、出ちゃうわ。
このままお耳に、ふ~っ、ふ~っ、吐息をプレゼント♡
ふう~っ、ふう~っ♡

お腹の中、とろつとうになって、
おまんこをいじること以外、なんにも考えられないのよね。

身も心も、どんどんサキュバスに墮ちていってるわよ。
けど、そんなドスケベで、ビッチなゆきちゃん、好きよ♡

腰を突きだして、ハアハアひとりエッチしてる、
ゆきちゃん、本当にエロ可愛すぎ♡

もう、余裕なさそうね。
イキかけ寸前って感じかしう？ んふふっ♪

ね、このままイッていいわよ。
ほうほう、イケっ、イケイケイケ、思いきり絶頂しちゃって♡

サキュバスうしくドスケベにおまんこでオナって、
イって、イってイってッ♡ イってしまいなさいッ♡♡♡

あはははははははっ、すごいわね。
オナイキだけでなく、はしたなく潮吹きまでしちゃうなんて。

大丈夫？ ぐったりしちゃって。
お股から愛液、だだ漏れよね。くすくすくす♪

ゆきちゃんのイキ顔、
すごくエロくて、可愛かったわよ♡

■Tr 04 フタナリサキュバスママに初めてのご奉仕

ね、ゆきちゃん……ぜえ、はあつ……
さっきのひとりエッチ、すごく良かったわよ……♡

はあ、はあ、はあつ、見てる私も、ムラムラしちゃって、
おまんこ、いじりたくなっちゃってるもの、んふ、くふう♡

あ、あん、あんん、指い、お股のどこにやっちゃったう、
我慢できなくって、くひ、ふひい、んい、んいい♡

おう、ほふう、んふうう♡ さっき飲んだあ、はひ、んひい、
ゆきちゃんのザーメンのせいも、あるかも♡

んふっ、それじゃあ、いくわねッ……！
あ、あお、あおう、あおおおっ、お、おお、おっおおっ♡

ぐっといのぉ、で、でりゅう……おまんこかうあ……
おう、おうお……ほおッ、ほおお……おほおおおおお——ッ……♡

くふ、はふう……ふう、ふうっ…………

ほうあ、見て♡ 私のぶつといオ・チ・ン・ポ♡

んふふふ、目を丸くして♡ 驚いちゃったかしら。

はあ、はあっ、私のような上級サキュバスはこうやって、インキュバスの能力も使え
ちゃうの。

女も、男も、どっちでもイケる、いわばバイセクシャルよね。

だって、どちらかに限定しちゃったう、
エッチなこと、楽しめるチャンスが半分になっちゃうもの♪

あんっ、ちょっと、待ちなさい。くすくすくす。

そんなに私のふたなりチンポ♡ 気になっちゃうのかしら？

どうして、勝手にひざまずいて、私の勃起に鼻先近づけてるの？

まだ、なんにも指示してないのに。んふふっ♪

本能的にオチンポ欲しがっちゃうなんて、
もうすっかりサキュバスよね。くふふっ♪

あんん、犬みたいに舌出して、ハアハアして♡
オチンポの匂いクンクンしてる。ちょっと情けなさすぎ♪

けど、まだお預けよ。

私がいいって、言うまでオチンポ、しゃがっちゃ、ダメ。

目の前で見ることだけ、許してあげる。くすくすくす♪

そんな悲しそうな顔しちゃって～。くふふっ♪

けど、このまま焦らすのも可哀そうだし、
いいわよ、ゆきちゃん、オチンポしゃがって♡

あふ、んふう、さっそく舐めしゃぶるなんて、

浅ましいにもほどがあるわね。

教師をやっていたとは思えないわ♡

ね、オチンポを舐めるの、もちろん初めてよね？

さっきまでオスだったくせに、必死にレロレロしちゃって、

んふふっ、ドスケベすぎよ、ゆきちゃん♪

もっと唾液、沢山まぐして、くふ、はふう♡

んう、んうう♡ ちゅぱちゅぱも、おしゃぶりも上手いわ♪

うん、そうよ。

亀頭のエラも、裏筋も全部、舐めて、はあはあ、

失っぽも、んふ、くふう、舌でレロレロして♡

んふ、もうすっかりオチンポの味にハマっちゃってるわね♡

積極的にオチンポ、れろちゅぱする、

ビッチなゆきちゃん、とっても素敵よ♡ んふふっ♪

ほうあ、もつ奥まで咥えこんで――

そうよ。膨らんだ亀頭、舌の上で転がして、

ん、んん、いいわ、たまうない♡

もっと、よ。唇を窄めて、いっぱいぢゅばぢゅばして。

あ、ああ……あう、くふう、んふうんッ……♡

はあ、はあ、くふ、んふう、そうよ。

もっと、いっぱいして、オチンポすみずみまで、

しゃがって、ちょうどい、くひ、ふひい♡

もっと頭を動かして、くふ、んふう♡

ゆきちゃんのお口の中あ、とってもよくって、

ふう、ふうっ、オチンポの勃起い、止まうないわ♪

んう、んううっ、はあ、はあっ、ごめんなさい。

さすがの私も、余裕なくなってきたわ。

勝手に腰い、動いちゃって、んう、んううっ♡

ゆきちゃんのお口い、おまんこみたいに使っちゃう♡

んん、んんっ、喉の奥まで、ビキビキにそり返ったオチンポで、

ピストンしてあげるから♡ そらそら、そらっ♡

やえはあっ、目を白黒させて、窒息してえ、

けど、このまま最後までいくわね♡ はう、はううっ♡

ゆきちゃんの中に、どろっどろのサキュバスザーメン、

思いきりぶちまけてあげるっ♡

はあ、はあっ、だってえ、ゆきちゃんは私の可愛い妹だもの。
姉として、いっぱい犯し抜いて、精液で汚してあげたいのッ♡

ほうあ、あと少しで、くふ、んふう、お、おお、おおおっ♡
出るう、出るわ、濃いのびゅるびゅるう、出すう～ッ……♡

ほお、ほおうッ、ゆきちゃんッ、私の全部、受け止めなさいッ♡
ほつおおおおおッ……ほつおおおおおおおお——ッ♡♡♡

んふ、はふう、ああ、いいわ、気持ちいい♡
ゆきちゃんのお口い、最高すぎい♡ おふ、ほふう♡

苦しそうにモゴモゴ動いてる、お口にい、たっぷりザーチう、
ふひ、はひい……んいいッ……ふたなり射精いい……たまうないい～ッ……

あお、あおお、あおうううう……
ほうあ、せっかく出した精液い、呑んでえ～ッ♡

んふ、そうよ、零さないように、ごくごくって、
あふ、んふう、そうっ、おそうじフェラあ、しながら、飲み干して♡

んふふっ、ザ～んぶ、飲めたわね。
ありがとう♡ 可愛い、私のゆきちゃん♪

くすくす、まだ体がビクビクって、エッチに震えちゃってる、
もしかして精液ごっくんで、アクメっちゃったの？

んふふっ、図星ね。いくら魔力を孕んだ濃い精液でも、
飲み干してイっちゃうなんて、ありえないって顔してるわね。

けど、おまんこでいったときと同じ感じよね？
それは、脳イキよ。

いずれは全身が性感帯になっちゃって、
エッチに高ぶると、ゆきちゃんは体のどこでも絶頂できちゃうの。

やっぱり、ゆきちゃん、エッチよね。
サキュバスの才能に恵まれてるわ。

その才能、私がこれからもっと開花させて、
はあ、はあっ、いっぱい堕としてあげる♡

■Tr 05 皆に囲まれてフタナリサキュバスママとおまんこハメハメ

ね、ゆきちゃん。色っぽい顔で、ハアハアしてえ、
すっごくオチンポ欲しそうね？ ね、正直に教えて。

んふふっ、私のふたなりチンポが、いいのね。
おねだりてきて、エライわ。

真面目に教師をやっていたのに、もう、すっかり淫乱なサキュバスに落ちてしまったの
ね♡

それじゃ、んしょ、っと、私が仰向けになるから、
ゆきちゃんが自分から、跨ってきなさい。

私のオチンポ、くふ、んふう、ゆきちゃんのおまんこが欲しくって、
はあ、はあっ、ギンギンにそり返って、カウパーだ漏れえ♡

さ、いつでも大丈夫♡
跨ったままで、ゆっくり腰を落としてきて♪

あんんっ、ほうあ、もっと腰をくっつけていいわよ。
最後まで私の勃起したオチンポ、しっかりと飲みこんで♡ んん、んんんっ♡

あはっ、おまんこの奥、
ぐいぐい拡げられてる感じ、どうかしら？

私も腰揺さぶって、ん、んん、
ゆきちゃんのエッチなお股、ぐちゅぐちゅしてあげる。
それ、それっ♪

ほうあ、そのまま腰、上下に動かして、
オチンポ、貪っていいのよ。
なんにも恥ずかしくないわ、
だって、ゆきちゃんはドスケベビッチなサキュバスだもの♡

あ、あふ、はふう、いいわ。
とうとうのおまんこで、シコシコされてえ、
はあはあ、濃いの、上がってきてる♡

それに、騎乗位で跨ったままで、アヘった顔で、

いっぱい腰振ってるゆきちゃん、可愛い♪

んう、周りのみんなも、興奮してきたみたいね。

くう、ひうう、お股をまさぐって、オチンポの準備かしら♡

ん、んん♡ サキュバスのふたなりチンポがいっぱい♡

勃起したオチンポに囲まれてるの、どんな気分。

これ全部、ゆきちゃんを狙ってるのよ。ん、んんっ♡

ほう、顔の前に出されたものから、順番に扱いてあげて。

んううう、私のものを咥えこんだまま、

左右のオチンポ扱くなんて、とってもいやらしいわ♡

んんっ、それにおまんこ、きゅうきゅう締まって。

中のヒダヒダ、とろっとろに絡んで。ん、んん、素敵よ♡

犯されて、こんなに喜ぶおまんこ、ひさしぶり♪

どんどんメスになっちゃってるわね。

んうう、あうう、とうとうお口のほうも、

フェラチオはじめちゃって、くすすっ♪

両手に、おまんこ、お口まで♡

四本同時にオチンポ楽しんじゃってるわね♪

んふかっ、頑張って。
ゆきちゃんが可愛くて、エッチすぎるから、
他のサキュバスたちも興奮しちゃってるのよ。

喉の奥までズボズボ、突っこまれて、
苦しそうだけど、でも、それで高ぶっちゃってるのよねえ。

両手も、お口も、おまんこ扱いされて、
今のはゆきちゃんの身体は、えろいオナホよね、ん、んんっ♡

けど、ゆきちゃんは、オチンポほしがりサキュバスだもの。
仕方ないわよね♡ んふ、くふう♡

はあ、はあっ、おまんこの締めつけ、
すっごい、お、おおっ、私も玉々、引きあがってえ、
精液、発射準備い、しひゃってるわ♡ んう、んううッ♡

けど、私よりも、他のみんなのほうが、限界みたいね。
んう、んうっ♡ それ、ゆきちゃん頑張って♡

窒息しそうだと思うけど、頭いっぱい振って、
両手もシコシコしてあげて。

お口も手も、びくびくオチンポ跳ねてるの、わかるわよね？
ゆきちゃんで興奮して、もう出しそうなの♡
精液、吐き出したいって、ハアハアしちゃってるのよ。

ほうほう、あと少しで、ぶちまけられちゃうわよ。

お口の中も、手も、びしゃびしゃザーメン浴びせられて、

どうっどうにされちゃうわねッ♡

んんっ、ほうあ、私以外の子は、み~んな、お射精しちゃったわ♡

濃いチンポミルクで、ゆきちゃんの全身、真っ白ね。

匂いも、ねばりもすっごいでしょ。

んふふっ、耐えきれなくて、

お口離しちゃうなんて、まだまだね♡

けど、唇の端から、いっぱい精液垂れてえ、

ゆきちゃんのお顔、すっごくえっちい♡

最後は私が本気ピストンで、

めちゃくちゃにアクメさせてあげるわ♡

それじゃ、いくわねッ——

ん、んん、んんッ♡

腰を思いきり突き上げて、

もっと荒っぽく、犯してあげるわねッ！

ほうッ、ほうほうッ！！

おまんこの底も、んう、んううつ、

激しく抉ってあげるッ♡

おまんこ全部、ぐちゅぐちゅつ、
かき浪ぜながうあ、一番底を、んい、んいい♡
いっぱい叩いて、そう、そうっ、
いつでもイっていいわよ。

腰を跳ねさせて、騎乗位のゆきちゃんを、
下から犯しまくってあげるかうっ！

あう、んうう、とろっとろのおまんこ、
エッチに絡んできて、素敵よ。

いやらしい欲しがりおまんこ、
もっと、いっぱい責めてあげるかう♡

あんんっ、ゆきちゃん、
急に抱き着いてきて、可愛いっ♪

おまんこ、ぐちゅぐちゅされすぎて、
身体、起こしてられなくなったの。くすくすっ♡

けど、手加減しないわよ。
だって、ゆきちゃんのおまんこに、
たっぷり射精したいものッ♡ ん、んん♡

子宮が歪むぐうい、激しい突きあげえ、
んう、んうう、たくさん、してあげるッ♪

そうっ、そうそうあッ、
奥のコリコリしたとこ、いっぱい浪ぜませして、
子宮の中も、ズボズボっ、犯しまくっちゃうわよッ♡

もっと感じて♡ このままイっていいわよ♡

最高にアクメったおまんこに、たっぷり濃いのぉ、
びゅっぐびゅぐう、ナマ種付けえ、してあげるわねッ♡

ほうほうほうあ、ほうあ～ッ！
イケっ、イケイケイケっ♡ イケえッ♡

いっぱいエッチな声、あげながう、
ポルチオイキい、キメちゃいなさいッ♡♡

んふあ、あふああ、あつはあああああ——ッ♡♡♡

んう、んうう、んふうううううう、妹サキュバスにい、
中出しい、くふ、はふう、素敵すぎいい……ん、んんっ……♡

ぜえ、はあはあ、お腹、張ってきて、あんんっ、
ゆきちゃんのおまんこから、私の精液、逆流しちゃってるわね。
んふふふふっ♪

ほうあ、まだ射精、とまうないかう♡

あ……ザーメン、たっぷり注ぎこまれて、
サキュバスの淫紋が反応してるわね♡

これだけサキュバスの精液、出されたら、
人間なう百パーセント、妊娠ね。くすくす。
安全日でも、即排卵して、受精着床しちゃうわ♪

けど、サキュバスなう大丈夫♡
出されたザーメンは、全部、身体が吸収してくれるの。
それが、私たちの生きる糧よ。

セックスを心ゆくまで楽しむだけで、
ずっと生きていうれる。それが私たちサキュバスなの。

ゆきちゃんも、立派なサキュバスに堕ちкиったってこと。
んふふふっ♪

それにしても、はあ、はあ、すっごいイキッぱりね……
まだ、エッチに体をビクビク跳ねさせて、アクメったままだなんて♡
見てるだけで、ぞくぞくするわねえ。

今日は、ゆきちゃんのおかげで、
とっても楽しい夜になったわ。くすくす。

キミをサキュバスにできて、本当によかった♪

これからも、ずっと一緒よ。
ドスケベな私の妹、ゆきちゃん♡ んちゅぱッ♡

■Tr 06 後日談 教え子ショタ誘拐

【スノウ】

人間界の繁華街なんて久しぶりに来たけど、
いつ来ても、この場所は人間の欲望が渦巻いていて、
とっても刺激的ね、はあ、はあっ♡

今、路地を歩いてる男の子よね？

ゆきちゃんが、狙ってるのは。んううつ。

確かに、整った顔に、すらりとした手足の、可愛い子。
ゆきちゃんが気になるのも、わかるわよ。

それじゃあ、行きましょう♪

【レン】

な、なんです、あなたたちは……！

【スノウ】

私はサキュバスのスノウよ。んううつ♪

落ち着いて、レンくん。

あなたに危害を加えるつもりはないわ。

【レン】

え……どうして、僕の名前を……ごくっ……！

【スノウ】

んう、私の隣の、この子が教えてくれたのよ。

実は、この子は、あなたの担任教師なの。

性欲に呑まれ、押し流されて、変わり果てた姿。

【レン】

でも、先生は、こんなに小さな女の子なんかじゃ……

【スノウ】

そう思うわよね。くすくす♪

けど、サキュバスに墮ちて、
こんなにあどけない女の子になっちゃったの。

目の前のロリサキュバスは、

間違いなく、あなたの先生よ。

【レン】

ううっ……けど……

え……それって……先週、相談した……成績の話……

ううっ……先生にしか、話してないのに……うそ、だよね……！

あ……や、やあっ……先生、近づいてこないで……

んが、はががう、んちゅ、ちゅぱ、ちゅがう♡

うう、ううっ、や、やめてよ……！

先生だったう、なおさら、こんなこと……しないで……

あうう、お兄ちゃんなんて、言わないで……！

【スノウ】

んふふっ、前かう、

ゆきちゃんは生徒のレンくんのこと、気に入ってたのよね。

それがサキュバスになって、弾けちゃったのよ。

最初の獲物はあなたがいいんだって。くすくすくす♪

ほう、ゆきちゃんの気持ちを受け入れてあげて。

だって、レンくんも、先生であるゆきちゃんに懐いてたのよね。

【レン】

でも……それと、これとは……！

先生は、こんなに幼くて、エッチな雰囲気じゃ……

あ、あんっ……あんんっ……♡

【スノウ】

んふふっ、でもレンくんも、オチンポがちがちにして、

ゆきちゃんのロリロリな身体に反応しちゃってるわよね？

んふっ、お似合いの二人ね。

少しヤケできちゃうわ。

それじゃ、レンくんのオチンポ、

いっぱい可愛がってあげて♡

私も、一緒にしゃがみこんで、
ゆきちゃんのえっついフェラ顔、
間近で見ててあげるから♡ んふうふつ♪

【レン】

え……可愛がるって……あ、ああっ……！

あふ、んふう、そんな、僕の……おちんちん……
ん、んんっ……レロレロしないでえ……♡

くふ、ひふう、んんっ……や、やんっ……
ますます、大きくなって……♡

【スノウ】

くすくす、エッチにそり返っちゃって、
ショタチンポ、とっても可愛い。

それに、ゆきちゃんのフェラ、
全然、余裕なさそうで、はあ～っ、好きいい♡

さ、もっと激しくしてあげて♪

【レン】

はうう、僕う、先生にフェラされて、
よくなっちゃって、こんなのいけないことなのに……！

【スノウ】

さ、ゆきちゃん。そのまま、教え子チンポ、
奥まで咥えこんで、いっぱいお口まんこで、扱いてあげて♡

【レン】

……あう、あううっ……や、やめてよぉ……！

んう、んううっ♡ 先生のエッチな唇、くひ、んひい、
絡んできて、あ、あん、あんんっ……や、やうあ……♡

あふ、んふう、本当にダメだから、ん、んんっ♡

くう、くうっ、腰、勝手に動いて、
先生のお口に、おちんちん抜き差ししちゃう、んう、んうう♡

こんな、いい、いいの♡

エッチなペロぉ、やうしく絡んてきて、
ん、んん、気持ちよすぎい……

こんなのは、ずるいよ……

我慢できないから、んふ、はふう……♡

はあ、はあっ……あううっ……

も、もうっ、限界ッ……でっ、出るう……

う、うう、んうう……

先生のお口に、出しちゃうッ……！

あう、あうう、あっううっ……
んくううううう——ッ！！！

ううっ、射精、止まうないッ……！
んん、んんん、んんん——ッ！！

ひゃうんッ♡ お口の中だけじゃなくてえ、
先生の顔に、びしゃびしゃあ、せーし、ぶっかけちゃってえ……
んえ、んええ……んふええええ…………

【スノウ】

あんっ……こっちまで精液、飛んできたわね……

指先で拭ってえ、んぢう、ぢうるう……
とっても素敵な濃い、精液い……ぢうるるるっ……んぱはあ～っ♪

はあ、はあっ……エッチな味い……
私も、レンくんのこと、気に入ったわ♡

ね、ゆきちゃん。
レンくんもこちうの世界に堕としましょう♪

【レン】

え……なにを、言って……あ、ああ、あっああっ……
くひ、んひい、お口で、おちんちん吸われてえ……♡
動けないっ……んい、んい……んっひいいいいい——ッ！！！

【スノウ】

想像してみて？

レンくんがどこにも行かないように自由を奪って、

この可愛いショタチンポには、ずっと射精寸前の状態になる魔法をかけるの。

あふ、はふう、そして、いつでも好きなだけ精液を出してくれる、ゆきちゃんと私、ふたり専用の、

ミルクサーバーにするなんてどうかしら？

素敵でしょう？♡

んっふふふふふふふふふふ♪